

Q：発達障害者支援法改正に伴う、取組と課題について

A：状態に応じた切れ目のない支援に努め、生活上の困りごとに対し、関係部署と連携し支援を行う。山口耕司議員



子育てにやさしいまちづくりについて
〔赤ちゃんの駅〕の設置について

山口 子育てしている方の外出を支援し、地域で子育て家庭を温かく応援するまちづくりのため、授乳やおむつ替えの場所を提供する店舗・施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、周知する「赤ちゃんの駅」事業を開始してはどうか。

あんしん福祉部長 この事業は有効であると考え検討し、取り組んでまいりたい。
〔移動式赤ちゃんの駅〕の導入について

山口 乳幼児を連れた保護者の方が安心してイベントに参加できるよう、おむつ替えや授乳を行うスペースとして「移動式赤ちゃんの駅」(写真1)を市で購入し、希望する団体へ貸し出す事業を開始していただきたい。
あんしん福祉部長 検討する。



〔インターネットを活用した子育ての取組について〕

(写真1 移動式赤ちゃんの駅)

山口 八尾市では、子供の成長に応じた切れ目のない支援を充実するため子供の年齢月に応じた「予防接種・健康診断」のお知らせや「赤ちゃんの駅」などの各種子育て関連施設等の情報をすぐに調べることが出来る「やお子育てアプリ」の無料配信を始め、八尾の子育てを応援する便利なアプリの事業を展開している。本市においても導入を希望はどうか。

あんしん福祉部長 子供を産み育てたいと感じる子育て世代の増加を目指し、インターネットを活用した情報発信について検討する。

改正発達障害者支援法について

山口 2016年5月、発達障害者支援法が改正。当事者や保護者にとって、この法改正は画期的で大切な事が盛り込まれており、高性能自閉症をはじめ、アスペルガー症候群、注意欠如多動性障害(ADHD)学習障害など、知的障害を伴わない発達障害は、支援の対象となったが、改正内容のポイントを尋ねる。

あんしん福祉部長 改正内容のポイントは、①発達障害の支援は「社会的障壁」を除去するために行う。②乳幼児期から高齢期まで切れ目のない支援。教育・福祉・医療・労働などが緊密に連携。③司法手続きで意思疎通の手段を確保。④国及び都道府県は就労の定着を支援。⑤教育現場において個別支援企画、指導計画の作成を推進。⑥都道府県による支援センターの増設。

⑦都道府県に係る機関による協議会を設置、以上、7項目である。

山口 今回の質問の目的は、本市において、この法改正を幅広く周知していただきたいとの思いである。

本市での取組と課題を尋ねる。

あんしん福祉部長 市の役割として、継続的な相談、情報の提供及び助言を行い、本人の状態に応じた切れ目のない相談体制と支援に努める。

課題は、障害者手帳を持っていないため、生活上の困りごとの支援が必要な場合が多く、各関係部署と連携を取り個々の状態に応じた支援を検討する。

【その他の質問】

1. 安心した老後を過ごせるまちづくりについて
2. 災害発生時における避難所運営について
3. 地域公共交通について

Q: 新庁舎建設に伴う安全確保について

A: 警察とも協議を図り、通行車両、歩行者の安全確保を行った上で、造成工事に着手する。

牧野雅一議員



新庁舎建設予定地周辺の街路整備計画について

牧野 周辺アクセス道路の計画及び工事期間中の周辺住民の安全確保を鑑みた工事用車両の導線確保について尋ねる。

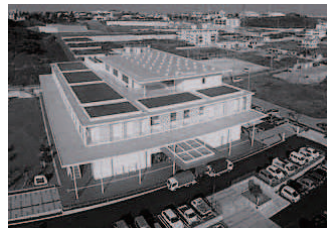
技監 平成32年度の新庁舎の完成に向けて、旧五條高校跡地の東側に接する南北方向のアプローチ道路と旧岡中線とJR五条駅北側を走る五條北部幹線とを連絡する東西方向のアプローチ道路の整備に重点的に取り組む。本陣交差点からの工事車両の進入口となる須恵4号線については、工事車両と一般車両とが接触しないよう紀陽銀行前の車両停止位置の改善や歩行者の安全確保を図るグリーンベルトの設置、交差点内の導流ラインの改善など、警察とも協議を図り、通行車両、歩行者の安全確保を行った上で、造成工事に着手する。

牧野

工事期間中はもとよ

り、しゅん工後も新庁舎を利用するにあたり、通行量が増える。

周辺にお住まいの方、寂れつつある五條でお商売をされている方、ほとんどの方が、この五條市を愛し住み続けておられ、御理解も御協力もいただけたらと思われませんが、御負担を軽減する対策が必要である。



(八重瀬町役場)

行政視察先の沖縄県八重瀬町（人口が30,450名）の人口は右肩上がりに増え続け、庁舎建設総工費は約25億円。実にシンプルで無駄が無く、利用される住民の皆様の利便性を考えた工夫が施され、最も多くの市民が望む、周辺の街路整備については、10年前から取り組み、区画整備事業

で二車線道路が整備されてきました。

東西方向の岡口3号線については、着工時に間に合わなくとも、少しでも早く供用を目指し、他の街路整備計画も様々な創意工夫を凝らし取り組み、我々議会議員が、全会一致で附帯決議まで付けて、半世紀にも及ぶ間、街の中心となった庁舎の移転を承認した議決が間違いでなかったと思える取組と将来のまちづくりには、しっかりと計画を立て、それに向けて着実に取り組まれるようお願いする。



【その他の質問】

大塔町の復興・振興について



1. 進捗について
2. 今後の展望について
1. 経緯・進捗について
2. 地震災害の取組について
1. 市の対応について
2. 市職員の取組について
1. 市民の医療関係について
2. 市民の利用状況（南奈良総合医療センター）について
2. 地域公共交通との連携について
1. 認知症患者に対する取組について
2. 認知症施策推進総合戦略について
1. 新庁舎建設事業に対する取組について
2. 市民への周知について



Q: 消防団拠点施設の必要性について

A: 拠点施設が必要だと認識しており、関係機関と研究していく。

窪 佳秀議員

まちづくり構想について

窪 旧五條高校跡地（新庁舎建設予定地）の進捗状況について伺う。

市長公室長 奈良県との新庁舎に係る個別協定を締結すべく協議を進めている。

窪 報道では、県が示した旧五條高校跡地に五條土木事務所等の併設とあったが、内吉野保健所の機能は全て町立大淀病院跡地に集約されるのか。

市長公室長 南部地域再配置構想により県の施設として五條土木事務所・南部農林振興事務所、国の施設として五條市ふるさとハローワークを併設、内吉野保健所は吉野保健所の出張所としてサテライト機能の設置を行うが、現在の保健所としての機能は変わらない。
窪 新庁舎については、市民アンケート結果を公表し、特に意見の多い周辺の道路整備も併せてお願いする。
次に、五條インターチェ

ンジ周辺、道の駅の進捗状況について伺う。

都市整備部長 県からの支援対象となる事業は、個別協定を締結し、道の駅の実現に向け、公募型プロポーザル業務の発注準備を進めて行く。

窪 近隣に道の駅がオープンし顧客の流れが変わり、JA牧野直売所に出店している農業従事者等が他の場所に移動し衰退してからでは遅い。

早急に計画を行い、対応を望むが考えはあるのか。

都市整備部長 近隣の状況も踏まえ地元住民や外部有識者・農業関係者等を構成員とする検討委員会を設置しアイデアを結集し、財政軽減を図るため民間の資金とノウハウを活用したPFI方式の導入に向け調査を行う。

窪 五條インター付近に道の駅を建設することがどれだけの市の活性化になるか、近隣の様子を見ても分かる。

市も本腰を入れてプロジェクトチームを設置し、スピード感を持って対処願う。

次に、五條病院周辺地区まちづくり構想の進捗状況について伺う。

すこやか市民部長 五條病院を核とした医療・介護・保健機能の強化、地域ぐるみの健康増進への強化、五條高校賀名生分校の全国展開に伴う地域の農業の担い手育成によるまちづくりを目指し県との基本協定を基に基本計画を策定している。

五條市消防団について

窪 消防団員の現状を伺う。
危機管理監 条例定数603人に対し現在560人で減少傾向にであり、平均年齢は45.5才である。

窪 消防団等充実強化法を踏まえ消防団員対策を伺う。
危機管理監 入団資格に市内在勤者に加え、今後機能別分団も含め工夫していく。

また、退団する場合は所属する分団で交代入団者を

確保していただいております。今後は、市内企業へも入団促進をお願いする。

窪 消防団の活動業務が広範囲になってきているが、団員の教育内容を伺う。

危機管理監 都市消防団長会・県消防学校等の防災研修、消防署と連携し合同訓練を実施し、今後も多様化する活動に対応するため団員教育を充実したい。

窪 教育を行うには、拠点施設を含めた教育体制が必要ではないか。

危機管理監 かしはら安心パークのような消防団の拠点施設が必要と認識しており、今後、消防署や関係機関と研究していく。

窪 消防団員は昔と違い、自営業者が少なくなりサラリーマンが主流となってきた。その団員が何時でも気軽に教育を受けられる拠点が必要である。

教育についても消防団・消防職員のOBを雇用し、環境を整えていただきたい。



Q: し尿処理施設運転管理業務委託について尋ねる

A: メンテナンス等は市の負担であるが、業務委託は仕様書どおりに行いたい。

吉田雅範議員

し尿処理施設運転管理業務委託について

吉田 委託するクリーン・

オアシスの運転業務を現場職員で対応できないのか。

産業環境部長 職員とメーカーサポートを受け運営しているが、今年度末でサポートが終了し、職員への負担とコストが掛かるので管理を委託する。

吉田 プラントは今まで問題なかったのか。

産業環境部長 約2年間運転してきた中で、プラントに不具合が生じサポートに来てもらっている。

吉田 運転業務だけでなく包括的な委託の方が安価ではないのか。不具合が生じた場合、改修・改善が十分されないまま運転業務を委託すれば、市の負担になり増額となるのではないか。

産業環境部長 メンテナンス等は市の負担であるが、業務委託は仕様書どおりに行いたい。

吉田 マニュアルを作成し包括民営化に向け進めてほしい。

また、し尿くみ取り料金の適正化について、合併時の協定で手数料は随時調整するとあるが、今後の考え方を尋ねる。

市長 合併時の協定書通りに進めたい。

施設の跡地利用について

吉田 旧衛生センターの解体と各施設の跡地利用について尋ねる。

産業環境部長 衛生センターの解体は、平成29年度・30年度の2箇年を予定、跡地は地元二見地区自治連合会と協議し、今後プランを提示して内容を検討する。

市長公室長 現庁舎の跡地利用は、市職員のワーキンググループにおいて検討しており、今後は新庁舎整備委員会と合わせて検討する。

理事 旧消防庁舎は、市役所等の物品等の保管場所、旧消防長室は、更生保護サ

ポートセンターの活動拠点1階は、中央公民館の利用者のための駐車場としており、現在、公共施設等総合管理計画を策定し、利用ニーズが低く建物性能の低い施設は解体が基本で、跡地は売却も含め転用が基本と考えている。

吉田 解体には費用も掛かるが、更地にした後の有効活用も検討してほしい。

また、学校適正化においても利用方法を検討していただきたい。

新庁舎への周辺整備について

吉田 道路を含めた周辺整備について尋ねる。

都市整備部長 新庁舎へのアクセス道路は、市道旧岡中線と市道岡口3号線の整備を重点に取り組みたい。

吉田 JR五条駅前周辺のまちづくりについて尋ねる。

都市整備部長 駅前整備については、駅の南側の広場及び駅舎と、新庁舎に接す

る須恵1号線の整備などがあり、それについても新庁舎建設後に考えたい。

吉田 国道310号からのアプローチ道路は墓地等があり実現性が低いという話もあることから、別ルートの検討について伺う。

都市整備部長 国道310号からのアプローチ道路は新庁舎建設予定地の有効活用、周辺住宅の密集度合、道路建設後の土地利用等を踏まえ、現時点において、現道の市道岡口6号線等を活用する現道拡幅案が最善のルートと考えている。

吉田 新庁舎建設やまちづくりは大事業である。

職員の負担も多い中での提案だが、技術者を雇用し、プロジェクトチームを組んで平成32年度新庁舎完成に遅れることなく進めてほしい。



(五條市役所本庁舎)